

Fild on Chimaki Riyosabore

(4)

(265)

工 事 請 負 契 約 書

雄別炭礦鐵道株式會社雄別礦業所長山中正夫ヲ甲トシ土屋組代表土屋芳
雄ヲ乙トシ工事請負契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 甲ハ左記工事ヲ乙ニ發注シ乙ハ左記金額ヲ以テ之ヲ請負ノモ
トス

- 一 工事ノ場所 阿寒郡阿寒村雄別炭山
- 一 工事ノ種類 坑道掘進作業並ニ坑外雜工事
- 一 工事請負期間 自昭和貳拾壹年七月拾五日 至昭和貳拾壹年七月拾六日
- 一 工事請負金額 一 金壹陌九拾四萬四仟圓也

第二條 前條ニ掲グル工事請負金額ハ乙ガ期間中毎日三〇〇名ノ勞務者
ヲ稼働セシメタル場合ノ請負金額ニシテ勞務者稼働數ニ増減ヲ生ジ
タル場合ハ其數一人一日ニ付金拾八圓也ヲ増減ナル金額ヲ甲ヨリ乙
ニ支拂ノモノトス

第三條 乙ハ本契約ニ依ル工事施行ニ關シテハ甲及甲ノ任命ナル係員ノ



指揮監督ニ從ノモノトス

第四條 乙ノ使用スル必需建物並ニ疊建具ハ甲ニ於テ設備シ無償貸與スルモノトシ乙ハ石建物其ノ他ノ物件ヲ故意又ハ重大ナル過失ニヨリ毀損セシメタル場合ハ辨償ノ責ニ任スルモノトス

第五條 本工事ニ使用スル工具類ハ總テ甲ヨリ乙ニ對シ無償貸與スルモノトス

第六條 本工事ニ使役スル勞務者ハ外國人タル中華人勞務者ナルヲ以テ之ガ生活管理及勞務管理ハ乙ニ於テ總テ其ノ責ニ任スルモノナルモ甲ハ爲シ得ル限り協力援助スルモノトス
但シ細目打合ハ別途協定スルモノトス

第七條 乙ノ使用スル勞務者業務上ニ起因スル負傷疾病ニ對スル扶助ハ甲ニ於テ規定ノ扶助料ヲ負擔スルノ外ハ總テ乙ガ其ノ責ニ任ズルモノトス

第八條 毎月ノ工事請負金ハ毎月十四日迄ニ精算シ乙ニ支拂フモノトス

第九條 甲ノ都合ニ依リ作業ヲ中止シ又ハ契約解除ヲ要スル事情發生シ
タル場合ハ日限ヲ定メ甲ハ乙ニ對シ契約解除ヲ通告スルモノトス
乙ノ都合ニ依リ契約解除ヲ要スル場合ハ最少限三ヶ月以前ニ甲ニ其
ノ旨申出デ其ノ承諾ヲ求ムルモノトス

第十條 乙ハ工事ニ對シ誠意ヲ以テ其ノ進捗ヲ計ルハ勿論國策的事業ニ
鑑ミ生産擴充ニ努力スルモノトス

右之通契約ヲ證スル爲本書貳通ヲ作成シ各自署名捺印ノ上各壹通ヲ領置
スルモノトス

昭和貳拾年 七月 十六日



甲

北海道阿寒郡阿寒村

雄別炭礦鐵道株式會社雄別礦業所

所長 山中

正



乙

札幌市南一條西七丁目十五番地

土屋組代表

土屋芳



聯合國最高司令部調查部
法務課

H. W. 平川 殿

~~Contract between~~
~~Yubetaru & Tsuchiya~~
Contract between
Yubetaru & Tsuchiya
Kumie

雄別炭礦株式會社

雄別礦務所

Hokkaido Sako Kaihatsu K.K.
Seiwa Mining Co.

Mitsubishi Baku Coal and
Contract with Chinese

energy

平
儿
毛
了

聯合國最高司令部
調查部法務課

殿

三菱美里礦業所

H0121A1D0

三
菱
美
唄
礦
業
所
鑛
業
株
式
會
社

聯合國人使用ニ關スル屆書

一 事業所名

北海道空知郡美唄町字美唄

三菱鑛業株式會社美唄鑛業所

二 國籍及人員

國籍 中華民國

人員

採用時 二八九名

歸國時 二五九名

三 取扱關係書類

一 民國三十三年度第三十四回華人勞務者對日供出ニ係ル「契約書」

附 華人勞務者移入ニ關スル三菱鑛業株式會社取締役社長「委任狀」

民國三十三年六月二十四日付華北勞工協會「華人勞務者對日供

出實施細目」

- 2 三愛美唄礦業所「華人勞務者給與規則」
- 3 死亡診斷書（二三通）死體檢案書（四通）及死亡顛末書（二通）
- 4 華人勞務者精算表
- 5 華人勞務者異動表
- 6 鐵道工業株式會社所屬聯合國人使用屆書

以 上

聯合國人使用屆書

一 聯合國人名 中華民國人

二 所屬組名 土屋組

三 三ノ所在地 札幌市南一條西七丁目十五番地

四 使用ニ至ル經緯其ノ他

北海道上川郡恩根内所在帝國鑛發株式會社天鹽鑛業所ニ於テ土屋組配下夫トシテ就勞中ノ前記中華人ヲ當所ニ轉社ノコトニ全組ト契約成立昭和二十年七月二十四日一五〇名、全年八月十七日一〇三名、計二五八名着山セルガ昭和二十年八月二十一日ヲ以テ就勞一切中止全年十一月三十日當地出發歸國セリ

五 關係書類

工事請負契約書原本添附

右ノ通り御届申上候也

部
外
秘

契

約

誓

民國三十三年度第三四回對日供出
北海道 三菱鑛業 美原

委任状

拙者 塚元 忠雄 ヲ代理人ト相定メ左ノ權限ヲ委任ス

一 華人勞務者移入ニ關シ事業主ノ爲スベキ一切ノ行爲

右委任状仍テ如件

昭和十九年七月卅一

東京都麴町區丸ノ内二丁目四番地

三菱礦業株式會社

生産責任者

小村 千太郎

取締役社長

契 約 書

昭和十九年二月五日大日本帝國ノ訂書並ニ華北勞工協會ノ勞工供出方ニ基キ華北勞工協會（以下甲ト稱ス）ハ三菱鑛業株式會社（以下乙ト稱ス）ニ對シ甲カ供出スル勞工使用ニ就キ左記ノ通り契約ス

第一條 乙ハ昭和十九年（民國三十三年）九月上旬ヨリ向テ二年間ノ期限ニテ甲ノ供出スル勞工ヲ使用スルモノトス

第二條 使用條件ハ別紙三十三年度第三四回 訓一華人勞務者對日供出實施細目ニ依ルモノトス

第三條 華北又ハ日本ニ於ケル經濟狀勢ノ著シキ變化並ニ豫見シ難キ事情發生ノ爲メ既存條件ノ範圍ニテ處理困難トナリタル場合ハ甲乙協議ノ上之ガ調査ヲ圖ルモノトス

右契約遵守履行ノ證トシテ本書正副二通ヲ作成シ當事者記名捺印ノ上各自其一通ヲ保有スルモノトス

民國三十三年六月二十四日

財團 華北勞工協會
法人

理事長 趙 琪

三菱鑛業株式會社社長

小 村 千 太 郎

右代理人 塚 元 忠 雄

民國三十三年六月二十四日

民國三十三年度第三四回（調）
華人勞務者對日供出實施細目

華北勞工協會

華人勞務者第三四回對口供出實施細目

一 就 勞 地 北海道美唄

二 募集供出方法

1 募集供出方法

華北勞工協會ニ於テ華北ヨリ勞工適格者ヲ選出シ所管地點ニ集結セシメ目的地へ轉送スルモノトス

2 編 成

隊組織トシ甲ニ於テ之ヲ定ム

規準左ノ如シ

隊ハ何何勞工隊ト稱シ隊長ノ下ニ必要ニ依リテハ副隊長ヲ置ク

總 炊 炊 班 書 隊	計 事 事 長 記 長	三 二 一 二 一 一	〇 五 名 名 五 〇 名 一 名	〇 名 二 名 名 名 〇 名	一 付 付 付 付 付	多 一 名 一 名 一 名 一 名	少 名 名 名 名	ノ 増 標 標 標 標	減 減 準 準 準 準	ヲ 考 考 考 考	慮 ス
-------------	-------------	-------------	-------------------	-----------------	-------------	-------------------	-----------	-------------	-------------	-----------	-----

3 携 帶 品

携帶品ハ甲ニ於テ豫メ之ヲ整備シ乙之ヲ負擔スルモノトス

4 輸送中ノ食糧

輸送中準備スベキ食糧ハ集結地ヨリ上陸地迄ノ必要量トシ概ネ別表「標準勞需品」ヲ基準トス、但シ訓練生ノ場合ハ出發前約十日間適宜ノ榮養食ヲ與フルモノトス

5 引渡地並ニ豫定月日

八月下旬日集結地ト豫定ス

輸送方法

1 警戒保護

輸送途中ニ於ケル警戒保護ニ就テハ交通治安ノ狀況ヲ勘案シ甲之ヲ定ムルモノトス

2 輸送機關並ニ經路

陸路ハ可成貨物自動車又ハ客車（鐵路）ニヨルモノトシ海路ハ乙ノ配船ニ依ルモノトス
出港地ハ募集地ノ關係ニ依リ甲之ヲ定メ上陸地ハ配船ノ都合ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

但シ配船ニ先チ甲乙協議ノ上之ヲ決定ス

配船ハ乙ニ於テ關係官廳ニ依頼スルモノトス

3 現場管理人ノ派遣

乙ハ勞工一〇〇名ニ付一名ノ現場管理人ヲ勞工ノ集結三十日前迄ニ
華北ニ派遣シ甲ノ指導ノ下ニ入ラシムルモノトス

4 引率責任者

乙ハ右現場管理人中ヨリ引率責任者ヲ定メ勞工引渡後ヨリ現場到着
迄（輸送間）勞工ヲ管理セシムルモノトス

5 災害救済

輸送中ノ事故ニ對シテハ別紙「華人勞務者災害扶助規定」ニ準ジ處
置スルモノトス

四 供出ニ關スル經費

1 供出準備費

本經費ハ乙ノ負擔トス

イ、概ネ別表「供出經費」ヲ基準トシ實費計算トス

但シ募集費ハ其ノ所要額ノ如何ニ不拘集結地ニ於ケル供出人員ニ
依リ一名ニ付八〇圓宛乙ヨリ甲ニ納入スルモノトス

ロ、甲ニ於テ必要ト認ムル時乙ハ勞工一名ニ付五〇
貨與シ勞工就勞後六ヶ月以上ノ期間ニ於テ之ヲ償却セシムルモ
ノトス但シ訓練生供出ノ場合ハ之ヲ與セス

2 輸送費

イ 運賃

供出勞工ノ運賃ハ凡テ乙ノ負擔トス

但シ船賃ハ乙ニ於テ内地着拂トシ本供出費ニ含マス

ロ 輸送間ノ食糧

輸送間勞工ノ使用スベキ食糧ハ甲之ヲ準備シ乙之ヲ負擔スルモ
ノトス

ハ、治安警備上、軍又ハ官時者ニ於テ特ニ必要ト認ムル輸送保護
ニ要スル經費ハ乙之ヲ負擔スルモノトス

3 引渡後ニ生ジタル損失損害ハ甲ノ準備品ノ損失並ニ事故ニ依ル供
出工人ノ損害ハ乙ノ負擔トス

但シ甲ハ損害ノ防止ニ就キ極力援助スルモノトス
4 麵袋其他返還物件

乙ハ麵袋其他甲ニ返還ヲ必要トスル物件ヲ用済後直ニ甲ニ還送ス

ルモノトス而テ萬一敷ニ於テ不足ヲ生シタル時乙ハ華北ノ時價ニ依リ之ヲ辨償スルモノトス

5 供出費納入方法

イ、供出準備金ハ前拂トシ引渡期日ヨリ概ネ一ケ月前ニ到着スル如ク乙ヨリ甲ニ納入スルモノトス

ロ、華北ニ派遣スヘキ契約代表引率者並ニ現場管理人ノ華北ニ於ケル旅費ハ本供出費ニ含まサルヲ以テ乙ニ於テ豫メ必要額ヲ豫定シ本額ニ加算送金スルヤウ手配スルモノトス
甲ノ豫定外ニ乙カ華北ニ於テ物品ヲ購入セントスル場合又同シ

其使用條件

1 契約期間

滿二ケ年トシ、但シ
イ、事業場到着ノ日ヨリ起算シ歸還ノ爲メ事業場出發ノ日ヲ以テ終ルモノトス

ロ、乙ニ於テ繼續使用ヲ希望スル場合ハ期間滿了二ケ月前ニ於テ關係機關ノ承認ヲ得テ甲乙合議ノ上之ヲ定ムルモノトス

2 作業種類

原則トシテ採鑛作業
但シ必要ニ依リ他ノ一般雜役ニ從事セシムルコトヲ得ルモノトス

3 作業組織

可及的隊組織ヲ活用スルモノトス

4 賃金算定並ニ支拂方法

イ、隊員ノ賃金ハ日本ニ於ケル訓練期間(一ヶ月)中就業一人一日ニ付二圓(食事附)トシ訓練期間經過後ハ普通賃金五圓ヲ標準(食事附)トス但シ所轄官署ニ於テ賃金統制アル場合ハ之ニ從フモノトス

ロ、幹部ノ賃金

隊長	隊員ノ平均	一圓ノ二人分
班長		一、五人分
書記		一、五人分
炊事長		一、五人分

月給トス

ハ、諸手當

時間外働増金等ハ内地人ニ準スルモノトス

ニ、賞與其他

賞與ハ内地人ニ準スル規定ニ準ジ支給スルモノトス
但シ右ハ舊正節、端午節、中秋節ニ分割支給シ尙内地人ニ支給スベキ時期ニモ分割支給スルモノトス

ホ、支拂方法

(1) 個人拂トシ駐在員立台ノ下ニ之ヲ行フモノトス

(2) 就勞日日額二圓ハ實録ヨリ控除シテ之ヲ積立金トス、積立

金ハ隊員個人名郵便貯金トシ毎月之ヲ隊員ニ提示スルモノトス

已ムヲ得サル事情ニ依リ積立金ノ引出ヲ行ハントスルトキハ駐在所長ノ承認ヲ得ルモノトス

5 作業用品

イ、鶴、匙、十字鉞等作業用具ハ乙ノ負擔トス

ロ、作業衣、地下足袋、草手、帽子、脚絆等作業用必需品ハ第一回ニ限り乙ノ負擔トス

6 送金

イ、積立金以外ノ送金ハ原則トシテ隊員ノ自由トス

但シ

之ガ取扱ハ毎月一括シテ華北勞工協會ハ出地出先機關（駐在員之ヲ指定スル）ヲ通シテ行フモノトス

ロ、積立金並ニ歸還ノ際ノ持歸金ノ額ニ就テハ條件ヲ附セザルモノトス

7 就勞並ニ就勞時間

内地人一般労働者ニ同ジトス、但シ内地人現場監督又ハ指導人以外一般内地人労働者又ハ朝鮮人トハ分離シテ就勞セシムルモノトス

8 公休日

イ、西大節ハ内地人一般労働者ニ準ス

ロ、舊正月三日間並ニ端午節、中秋節各一日ハ必ズ公休ノ取扱

ヲナスモノトス、但シ

規準食糧以外ニ増賄（焼酒、肉野菜類ノ特別配納ヲ行フモノトス）

9 宿舍施設

一般内地人特ニ朝鮮人トハ隔離收容スル施設ヲナシ華人ノ習性ニ適合セシムルモノトス

10 生活必需品ノ調達

乙ハ勞工ノ華北ニ於テ消費スル程度ヲ標準トシテ勞工必需品ヲ就勞地ニ於テ調達配給スルモノトス
但シ規準食糧以外ハ隊員ノ負擔トス

標準勞需品

調味料		主食副食物										種類		
鹽	落花生油	胡麻油又ハ	味噌	猪肉	青菜、葱	漬物	豆マヤシ	白菜	豆類	雜穀類	玉蜀粉	粟	小麥粉	品目
														單位
														一人一ヶ月所要量
1.0	0.3	0.3	0.3	0.5	1.3	4.0	5.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	7.0	金額
														備考

〇〇瓦〇〇

費服被	品用事炊								料燃			料味調		
靴下	皿(小)	皿(大)	匙	勺子	湯沸	ハシ	湯呑	茶	隣寸	薪	豆炭	石炭	蒜	醬油
枚	"	"	個	本	個	對	"	"	個	"	"	"	"	"
									五〇	一〇〇	一二五〇	三〇〇	一〇〇	〇三
適宜定ム	一人二年	一班二年	一人二年	一班二年	一班二年	一人二年	一人二年	一人二年						
	四	二三	四	一〇	四	四	二	四						

。。10。。

他ノ具			
洗濯石鹼	石鹼	齒磨粉	タバコ
〃	箇	袋	本
一人	一人	一人	一人
二年二二四	二年二四	二年一〇	一月三〇〇

11 風呂ハ無料トシ毎日使用可能ナル設備ヲ設クルモノトス散髪ハ

具ヲ貸與シテ各自處理セシム

12 宿舍費、電燈費、水道燃料費等ハ乙ノ負擔トス

13 賄方法

必要物資ハ隊又ハ班ニ交付シ之ヲ 理セシム

之ニ要スル施設ハ乙ニ於テ行フモノトス

14 衛生施設

乙ノ既存設備ヲ利用セシメ無料トス

15 保護救済

別紙一華人勞務者災害扶助規定ニ依ルモノトス

16 慰安所

追而之ヲ定ム

六 駐在員

勞工ノ指導ニアタラシムル爲概ネ勞工三〇〇名ニ對シ日系駐在所
長一華系駐在員一ヲ附スルモノトス

1 身分關係

駐在員ハ甲所屬トス

2 經費

乙ハ甲ニ對シ管理費トシテ月額壹千壹百圓ヲ三ヶ月毎ニ豫納ス
ルモノトス

3 往復旅費

乙ノ負擔トシ協會旅費規定ニ依リ其ノ都度納入スルモノトス甲
ノ職員並ニ一ノ行ヲ必要トスル場合亦同シ但シ駐在員ハ一
名一年間ヲ通シテ一回程度華北ヘノ事務連絡ヲ豫定スルモノト
ス

4 赴任歸還旅費

乙ノ負擔トシテ甲ノ旅費規定ニ依リ其ノ都度納入スルモノトス

5 勞工心理把握

必要上乙ハ駐在員ノ事務室ヲ獨立セシメ隊員
ノ出入自由ナル設備ヲ設クルモノトス

6 乙ハ駐在員ニ對シ

宿舍ヲ配置スルモノトス

七 送還方法

- 1、滿期送還ノ場合ハ乙ニ於テ責任者ヲ附シ一括送還スルモノトス
- 2、中途送還ノ場合ハ華北勞工協會駐在員ノ送還計劃ニ依ルモノトス
但シ駐在員ノ送還ニ要スル費用ハ乙ノ負擔トス
- 3、送還先ハ工人ノ原任地トシ之ニ要スル費用ハ乙ノ負擔トス

八 採用規格

- 採用規格ハ左記ニ依ルモノトス
- 1 身體強健ニシテ重筋肉労働ニ堪ヘ得ル者タルベキコト
 - 2 年齢ハ滿十六歲以上ニシテ可成若年者ヲ優先的ニ撰拔スルモノトス
 - 3 傳染性、其他嫌悪スベキ疾患ヲ有セザル者タルベキコト
 - 4 甲ニ於テ思想的ニ不良ナラザルモノト認ムルモノ
 - 5 現地詮衡ニ際シテハ上記標準ニ基キ詮衡スルコトトシ乙之ニ立

合フモノトス

九 到着後ノ豫備訓練

到着後ノ豫備訓練ハ概ネ左記ニ依リ實施スルモノトス

- 六
- 1 到着後一ヶ月間ヲ訓練期間トシ
 - イ 生活指導
 - ロ 日本語指導
 - ハ 職業訓練
 - ニ 作業（保安ヲ含ム）訓練
 - ホ 現場教育
 - 2 一ヶ月間ハ外出ヲ許サズニケレ目ヨリ集團的ニ引率者ヲ附シ外出セシムルモノトス
 - 3 逃亡者ニ對スル處置
 - 4 逃亡シタルモノヲ捕ヘタルトキハ原則トシテ事業場ニ戻スモノトス

華人勞務者災害扶助規程

1 勞務者就勞期間中ニ死亡シタルトキハ葬祭料用ノ外左記弔慰金ヲ家族ニ支給スル爲協會（東京事務局）ニ納入スルモノトス
イ 公傷病死

隊長、副隊長 七〇〇圓

炊事長 七〇〇圓

書記、班長 七〇〇圓

一般勞務者 五〇〇圓

ロ 私傷病死

公傷病死ノ場合ノ半額トス

2 勞務者就勞期間中ニ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ其ノ治療ニ要スル費用ハ事業主ニ於テ負擔スル外左ノ如ク給與ス

イ、公傷病一日ニ付最低保額一圓

ロ、私傷病食事ノミ支給

3 勞務者就勞期間中ニテ公傷病ニ依リ不具廢疾トナリタルトキハ左記慰料ヲ支給ス

イ、労働ニ稍支障ヲ來ス程度ノモノ	隊長、副隊長	二〇〇〇圓
	炊事長	二〇〇〇圓
	書記、班長	二〇〇〇圓
	一般労働者	一〇〇〇圓
ロ、病數ノ労働ニ堪ヘサルモノ	隊長、副隊長	五〇〇〇圓
	炊事長	五〇〇〇圓
	一般労働者	一〇〇〇圓
	書記、班長	五〇〇〇圓
ハ、全ク労働能力ヲ失ヒタルモノ	隊長、副隊長	七〇〇〇圓
	炊事長	七〇〇〇圓
	書記、班長	七〇〇〇圓
	一般労働者	四〇〇〇圓
但シ公私傷疾ノ區別ノ認定ニツキ協議		
ハサルトキハ官ノ裁定ニ依		

供出經費

項目	人員	金額	備考
身過品費	三〇〇	六〇〇〇〇	
輸送途中食費		三〇〇〇〇	
携帶食糧費		九〇〇〇	
炊事用品費		九〇〇〇	
娛樂用品費		三〇〇〇	
輸送費		三〇〇〇	
募集費		二〇〇〇	
合計		一六五〇〇	

安 任 狀

拙者 塚 元 忠 雖ヲ代珠人ト相定メ左ノ權限ヲ委任ス
一 華人勞務者移入ニ關シテ業主ノ為スベキ一切ノ行爲

右委任狀仍々如件

昭和十九年七月卅一日

東京市麹町區丸ノ内二丁目四番地

二愛 彌 榮 株 式 會 社

生産責任者

取締役社長

小 村 千 太 郎

契

約

書

三
菱
美
限
礦
業
所

契約書

昭和十九年二月五日日本帝國ノ訂商並ニ華北勞工協會ノ勞工供出方ニ基キ華北勞工協會以下甲ト稱ス一ハ三交鐵業株式會社以下乙ト稱ス一ニ對シ甲カ供出スル勞工使用ニ就キ左記ノ通り契約ス

第一條 乙ハ昭和十九年（民國二十二年）九月上旬ヨリ向フ二年間ノ期限ニテ甲ノ供出スル勞工ヲ使用スルモノトス

第二條 使用條件ハ別紙二十二年度第二四回 訓一華人勞務者對日供出實施細目ニ依ルモノトス

第三條 華北又ハ日本ニ於ケル經濟狀勢ノ者シキ變化並ニ豫見シ難キ事情發生ノ爲メ既付條件ノ範圍ニテ處理困難トナリタル場合ハ甲乙協議ノ上之カ調査ヲ圖ルモノトス

右契約遵守履行ノ趣トシテ本旨止則ニ進ヲ作成シ當事者記名捺印ノ上各自具一通ヲ保有スルモノトス

民國二十二年六月二十四日

財團 華北勞工協會
 法人 理事長 趙 瑛

三交鐵業株式會社社長
 小 村 千 太 郎
 石代 理 人 塚 元 思 雄

民國三十三年六月二十四日

民國三十三年度第二四四(調)
華人勞務者到口出口實地視察

華北勞工協會

華人労働者第二回回口供出實施細目

一、就 勞 地 北海道美幌

二、募集供出方法

1 募集供出方法

華北勞工協會ニ於テ華北ヨリ勞工過格者ヲ選出シ所要地點ニ集結セ
シメ目的地へ轉送スルモノトス

2 編 成

隊組織トシ中ニ於テ之ヲ定ム

規準左ノ如シ

隊ハ何々勞工隊ト稱シ隊長ノ下ニ必要ニ依リテハ副隊長ヲ置ク

隊 長 一名(二)シ乃至五(一)シ名ニ付一

書 記 一(一)シ名ニ付一名ノ副

班 長 二五名ニ付一名ヲ標準トス

炊事班長 一名

炊事夫 二五名ニ付一名ヲ標準トス

總 計 二(一)シ名(多少ノ増減ヲ考慮ス)

3 携 帶 品

携帶品ハ申ニ於テ隊ノ之ヲ整理シ乙之ヲ負擔スルモノトス

4 輸 送 中 ノ 負 荷

輸送中準備スベキ長襪ハ果結地ヨリ上陸地迄ノ必要量トシ概不別
衣「標準裝備品」ヲ基準トス、但シ訓練生ノ場合ハ出發前約十日
間廻且ノ検査食ヲ與フルモノトス

5 引 渡 地 並 ニ 隊 定 月 日

八月下旬口果結地ト隊定ス

三 輸 送 方 法

1 醫 療 保 護

輸送途中ニ於ケル醫療保護ニ就テハ父連泊女ノ狀況ヲ觀察シ申之
ヲ定ムルモノトス

2 輸 送 機 關 並 ニ 経 路

陸路ハ可成良物自動車又ハ各車（鐵路）ニヨルモノトシ海路ハ乙
ノ配船ニ依ルモノトス
出港地ハ募集地ノ關係ニ依リ申之ヲ定メ上陸地ハ配船ノ都合ニ依
リ之ヲ定ムルモノトス

但シ配船ニ先立ち中乙協議ノ上之ヲ決定ス
配船ハ乙ニ於テ歸休日懸ニ依頼スルモノトス

3 現場管理人ノ派遣

乙ハ勞工一〇〇名ニ付一名ノ現場管理人ヲ勞工ノ集結三十日前迄ニ
華北ニ派遣シ中ノ指導ノ下ニ入フシムルモノトス

4 引率責任者

乙ハ石現場管理人中ヨリ引率責任者ヲ定メ勞工引渡後ヨリ現場到着
迄ハ輸送間一勞工ヲ管理セシムルモノトス

5 災害救済

輸送中ノ事故ニ到シテハ別紙「華人労働者災害扶助規定」ニ準ジ處
置スルモノトス

丙 供出ニ關スル經費

1 供出準備費

本經費ハ乙ノ負擔トス

イ、概ネ別表「供出經費」ヲ基準トシ實質計算トス

但シ募集費ハ兵ノ所安頓ノ如何ニ不拘集結地ニ於ケル供出人自ニ
依リ一名ニ付八〇圓宛乙ヨリ甲ニ納入スルモノトス

…三…

ロ、甲ニ於テ必要ト認ムル時乙ハ勞工一名ニ付五〇円ヲ
貸與シ勞工就職後六ヶ月以上ノ期間ニ於テ之ヲ償却セシムルモ
ノトス但シ訓練生供出ノ場合ハ之ヲ要セズ

2 輸送費

イ、運賃

供出勞工ノ運賃ハ凡テ乙ノ負擔トス

但シ船賃ハ乙ニ於テ内地船拂トシ本供出費ニ含まズ

ロ、輸送間ノ良種

輸送間勞工ノ使用スベキ良種ハ甲之ヲ準備シ乙之ヲ負擔スルモ
ノトス

ハ、治安警備上、軍又ハ臨時者ニ於テ特ニ必要ト認ムル輸送保護

ニ要スル經費ハ乙之ヲ負擔スルモノトス

3 引渡後ニ生ジタル損失損害（甲ノ準備品ノ損失並ニ事故ニ依ル供

出工人ノ損害）ハ乙ノ負擔トス

但シ甲ハ損害ノ防止ニ厥キ極力援助スルモノトス

4 廻装其他迅速物件

乙ハ廻装其他中ニ迅速ヲ必要トスル物件ヲ用済後直ニ甲ニ還送ス

ルモノトス而テ高一級ニ於テ不足ヲ生シタル時乙ハ華北ノ時價ニ依リ之ヲ辨償スルモノトス

5 供出賃納入方法

イ、供出準備金ハ前拂トシ引渡期日ヨリ概ネ一ケ月前ニ到着スル

如ク乙ヨリ中ニ納入スルモノトス

ロ、華北ニ派遣スルキ契約代表引率者並ニ現場管理人ノ華北ニ於

ケル旅費ハ本供出賃ニ含まサルヲ以テ乙ニ於テ豫メ必要額ヲ豫

定シ本額ニ加算送金スルヤハ手配スルモノトス

甲ノ豫定外ニ乙カ華北ニ於テ物品ヲ購入セントスル場合又同シ

五 使用條件

1 契約期間

滿二ケ年トシ、但シ

イ、事業場到着ノ日ヨリ起算シ歸還ノ爲メ事業場出發ノ日ヲ以テ

終ルモノトス

ロ、乙ニ於テ繼續使用ヲ希望スル場合ハ期間滿了二ケ月前ニ於テ

2 作業種類

但原則トシテ休職作業一級雜伎ニ從事セシムルコトヲ得ルモノトス

3 作業組織

可及的隊組織ヲ活用スルモノトス

4 真帝昇正並ニ文拂方法

イ、隊員ノ真帝ハ日本ニ於ケル訓練期間一ヶ月一中期奉一八一
 日ニ付二圓一良奉附一トス
 ロ、幹部ノ真帝ニ從フモノトス
 俸準一良奉附一トス但シ所轄員者ニ於テ真帝祝制アル場合ハ之

隊員	隊員ノ平均一日ノ	一八分
班長		一、五八分
書記		一、五八分
炊事長		一、五八分

 月給トス

ハ、給手當

時間外割増並守ハ内地人ニ準スルモノトス

ニ、員典其他

賞典ハ内地人ニ準スル規定ニ準ジ支給スルモノトス
 但シ石ハ島止即、端午即、中秋即ニ分割支給シ内地人ニ支給
 スベキ時期ニモ分割支給スルモノトス

：六：

ホ、支拂方法

(1) 個人拂トシ駐在自立台ノ下ニ之ヲ行フモノトス
(2) 就勞日日額一圓ハ其額ヨリ控除シテ之ヲ積立金トス、積立金

ハ隊員個人名郵便貯蓄トシ毎月之ヲ隊員ニ提示スルモノトス
ヒムヲ侍ザル事情ニ依リ積立金ノ引出ヲ行ハントスルトキハ
駐在所長ノ承認ヲ得ルモノトス

5 作業用品

イ、~~鑿~~匙、丁子鋏等作業用具ハ乙ノ負擔トス

ロ、作業衣、地下止衣、車手、帽子、脚絆等作業用必需品ハ第一

回ニ限り乙ノ負擔トス

6 送金

イ、積立金以外ノ送金ハ原則トシテ隊員ノ目田トス

但シ

之ガ取扱ハ毎月一括シテ華北勞工協會ハ出地出先機關ハ駐在員

之ヲ指定スルヲ通シテ行フモノトス

ロ、積立金並ニ郵送ノ際ノ付郵金ノ額ニ就テハ隊員ヲ附セザルモ

送ノトス

7 就勞並ニ就勞時間

内地ハ一般労働者ニ同ジトス、但シ内地ハ現場監督又ハ指導人以外一般内地人労働者又ハ朝鮮人トハ分離シテ就勞セシムルモノト

ス

6 公休日

イ、西大郎ハ内地人一般労働者ニ準ス

ロ、露正月三日間並ニ端午節、中秋節各一日ハ必ス公休ノ取次ヲ

ナスモノトス、但シ

規準食糧以外ニ増用一焼酒、肉野菜類ノ特別配給ヲ行フモノト

ス

9 宿舍施設

一般内地人特ニ朝鮮人トハ隔離収容スル施設ヲナシ華人ノ責任ニ

適合セシムルモノトス

10 生活必需品ノ調達

乙ハ勞工ノ華北ニ於テ消費スル程度ヲ標準トシテ勞工必需品ヲ就

就勞地ニ於テ調達配給スルモノトス

但シ規準食糧以外ハ隊員ノ負擔トス

標準労働用品

調味料		主食副食物										種類						
鹽	落花生油	胡麻油 又ハ	味噌	猪肉	青菜・葱	漬物	豆モヤシ	白菜	豆類	雑穀類	玉蜀粉	果	小麦粉	品目	単位	一人一ヶ月所要量	金額	備考
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		kg			
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		kg			

賞服被	品用事炊							料燃			料味調			
	靴	皿(小)	皿(大)	匙	勺	湯	湯	茶	餅	新	豆	石	蒜	醬
下ツ					子	湯	シ	吞	寸		炭	炭		油
枚	・	・	個	本	個	個	・	・	個	・	・	・	・	・
									五	〇	一	〇	〇	〇
適宜定ム	一人二年	一班二年	一人二年	一班二年	一班二年	一人二年	一人二年	一人二年						
	四	二三	四	一〇	四	四	二	四						

...〇!...

他ノ其			
洗濯石鹸	石 鹸	齒 磨 粉	タ バ コ
・	面	袋	本
一人 二年二二四	一人 二年二四	一人 二年一〇	一人 一月三〇〇



- 11 風呂へ無料トシ毎日使用可能ナル設備ヲ設クルモノトス散髪ハ具ヲ貸與シテ各自施地セシム
- 12 宿舍費、電燈費、水道燃料費等ハ乙ノ負擔トス
- 13 賄方法
必要物資ハ隊長又ハ班ニ交付シ之ヲ料理セシム
之ニ要スル施設ハ乙ニ於テ行フモノトス
- 14 衛生施設
乙ノ既存設備ヲ利用セシメ燃料トス
- 15 保護救済
加給へ華人労働者災害扶助規定ニ依ルモノトス
- 16 慰安所
追而之ヲ定ム

6	5	4	3	2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	6
乙	出	乙	乙	往	ル	乙	往	往	往	往	往	往	往	往	往	往
ハ	入	工	工	復	モ	ハ	復	復	復	復	復	復	復	復	復	復
駐	目	心	心	旅	ト	甲	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅	旅
在	由	理	理	費	ス	ニ	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
員	ナ	把	把	係	ハ	所	係	係	係	係	係	係	係	係	係	係
ニ	ル	握	握	員	ス	屬	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員
到	故	ノ	ノ	同	ハ	ト	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
シ	備	必	必	行	ニ	ス	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行
伯	ラ	要	要	規	シ	ル	規	規	規	規	規	規	規	規	規	規
舎	故	上	上	定	テ	モ	定	定	定	定	定	定	定	定	定	定
ヲ	ク	乙	乙	依	ハ	ト	依	依	依	依	依	依	依	依	依	依
配	ル	駐	駐	リ	ス	ス	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
直	モ	在	在	其	ハ	ト	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其
ス	ト	員	員	ノ	ス	ス	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
ル	ス	ノ	ノ	都	ハ	ス	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都
モ	ト	事	事	度	ス	ス	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
ノ	ト	務	務	納	ハ	ス	納	納	納	納	納	納	納	納	納	納
ト	ス	至	至	入	ス	ス	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入
ス		ラ	ラ	ス	ル	ル	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス
		獨	獨	ル	ハ	ハ	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
		立	立	モ	ス	ス	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ
		セ	セ	ノ	ト	ト	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		シ	シ	ト	ス	ス	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
		メ	メ	ス	ル	ル	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス
		隊	隊	ル	ハ	ハ	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
		員	員	ト	一	一	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員
		ノ	ノ	ス	甲	甲	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		ス	ス	甲	一	一	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス

：一二：

十三：

送還方法

- 1 満期送還ノ場合ハ乙ニ於テ責任者ヲ附シ一括送還スルモノトス
- 2 中途送還ノ場合ハ華北勞工協會駐在員ノ送還計画ニ依ルモノトス
但シ駐在員ノ送還ニ要スル費用ハ乙ノ負擔トス
- 3 送還先ハ二人ノ原任地トシ之ニ要スル費用ハ乙ノ負擔トス

八 採用規格

採用規格ハ左記ニ依ルモノトス

- 1 身体強健ニシテ專筋 肉労働ニ堪ヘ得ル者タルベキコト
- 2 年齢ハ滿十六才以上ニシテ可成若年者ヲ優先的ニ撰拔スルモノトス
- 3 傳染性、其他疾患スベキ疾患ヲ有セザル者タルベキコト
- 4 甲ニ於テ思想的ニ不良ナラザルモノト認ムルモノ
- 5 現場詮衡ニ際シテハ上記標準ニ基キ詮衡スルコトトシ乙之ニ立合フモノトス

九 到着後ノ豫備訓練

到着後ノ豫備訓練ハ概ネ左記ニ依リ實施スルモノトス

1 到着後一ヶ月間ヲ訓練期間トシ其間ハ實務ニ從事セシメス左ノ
訓練ヲ實施スルコト

イ 生活指導

ロ 日本語指導

ハ 團體訓練

ニ 修作所へ保安ヲ含ム一訓練

ホ 現場教育

2 一ヶ月間ハ外出ヲ許サズ二ヶ月目ヨリ集團的ニ引率者ヲ附シ外

出セシムルモノトス

大 逃亡者ニ對スル處置

逃亡シタルモノヲ捕ヘタルトキハ原則トシテ専業場ニ戻スモノトス

華人勞務者災害扶助規程

1 勞務者就勞期間中ニ死亡シタルトキハ葬祭料用ノ外左記弔慰金ヲ家族ニ支給スル爲協會（東京事務局）ニ納入スルモノトス

イ 公傷死病 隊長、副隊長 七〇〇圓

炊事長 七〇〇圓

書記、班長 七〇〇圓

一般勞務者 五〇〇圓

ロ 私傷病死

公傷病死ノ場合ノ半額トス

2 勞務者就勞期間中ニ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ其ノ治療ニ要スル費用ハ事業主ニ於テ負擔スル外左ノ如ク給與ス

イ、公傷病一ロニ付最低保證額一圓

ロ、私傷病負傷ノミ支給

3 勞務者就勞期間中ニ於テ公傷病ニ依リ不具廢疾トナリタルトキハ左記慰料ヲ支給ス

但 シ 公 私 協 賛 ノ 區 別 ノ 認 定 ニ ツ キ 協 議 調 ハ サ ル ト キ 八 目 ノ 裁 定 ニ 依 ル	一	書	从	隊	ハ	一	書	从	隊	口	一	書	从	隊	イ
	般	記	争	長	至	般	記	争	長	通	般	記	争	長	勞
	勞	、	長	、	ク	勞	、	長	、	數	勞	、	長	、	働
	務	班	副	勞	勞	働	班	副	勞	ノ	務	班	副	働	二
者	長	隊	働	働	能	長	隊	働	二	者	長	隊	働	作	
					力				塊						ヲ
					ヲ				ヘ						入
					矢				サ						任
					ヒ				ル						後
					タ				セ						ノ
					ル				ノ						セ
					セ										ノ
	四	七	七	七	一	五	五	五	七	一	二	二	二	二	
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

供出経費

項目	日	人	金額	御	備	考
身廻品買		三〇〇	六〇〇〇〇〇	〇〇		
搬送途中買			九〇〇〇〇	〇〇		
携帶具買			九〇〇〇〇	〇〇		
炊事用品買			三〇〇〇〇	〇〇		
娯楽用品買			三〇〇〇〇	〇〇		
搬送買			二〇〇〇〇	〇〇		
券集買			一六五〇〇	〇〇		
合計			一六五〇〇	〇〇		

華 人 勞 務 者 給 與 規 則

三 菱 美 唄 礦 業 所

華人勞務者給與規則

三菱美限炭礦

第一條 一日ノ所定就業時間數並休憩時間數ハ左ノ通トス

種	類	交替ナキ場合		
		所定就業時間數	休憩時間數	
二交替	一番	十時間	三十分	
	二番	十時間	三十分	
三交替	一番	九時間	三十分	
	二番			
	三番			

第二條 賃金ハ毎月々末ヲ以テ締切り翌月十五日迄ニ通貨ヲ以テ支拂フ但シ死亡歸國ノ場合ハ通滞ナク之ヲ支拂フモノトス

第三條 隊長、副隊長、班長炊事長書記ハ月給トシ一般勞務者ノ平均賃金左ノ率ヲ乘ジタル額ヲ以テ月給額トス
但シ一般勞務者中最高所得者ノ賃金トノ差違少キトキハ適宜増額スルコトアルヘシ

隊長、二〇割

副隊長、班長、炊事長、書記、一五割

第四條 定額給者ノ所定就業時間ニ對スル最高賃金並最低賃金ハ左ノ通トス

		最	高	最	低
坑	内	五	圓	三	圓
坑	外	四	圓	二	圓

第五條 所定就業時間就業ノ場合ニ於ケル請負給ノ補償給ハ前條所掲ノ最低額トス

第六條 自己ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ依リ所定就業時間以内ニ作業ヲ中止セル場合ハ所定就業時間就業セルモノト看做ス

第七條 單價請負制ノ請負單價及賃金算定方法ハ左ノ通トス

手當ノ區分	第八條 各種手當ハ左ノ通トス	土木		坑内雜役		坑内運搬	仕 繰	採 炭		作 業					
		土 工	軌 道	充 填	通 氣	棹 取	粹 入	掘 進	採 炭	種 類					
額又ハ率		岩石ノ場合一立方米ニ付	土砂場合一立方米ニ付	五・五米一層ニ付	一立方米ニ付	木道風道橋板一坪ニ付	風鐵管一本ニ付	一車ニ付	一枚ニ付	石炭掘進延一米ニ付	岩石掘進延一米ニ付	拂面一米山丈一米進行一米ニ付	一車ニ付	請 負 單 價	
額又ハ率		一〇・〇〇乃至二〇・〇〇	一・〇〇乃至二・〇〇	二・〇〇乃至三・〇〇	二・〇〇乃至三・〇〇	一・〇〇乃至二・〇〇	二・〇〇乃至三・〇〇	〇・二乃至一・〇	二・〇乃至三・〇	二・〇〇乃至三・〇〇	二・〇〇乃至三・〇〇	二・〇〇乃至三・〇〇	二・〇〇乃至三・〇〇	(但歩引盤引ヲナス)	單價×作業個數
額又ハ率														算定方法	

額又ハ率
額又ハ率
額又ハ率
額又ハ率

第九條

勞務者ニ對シ左ノ實物給與ヲナス

勤務關		係手當		不就業		手當			
休日出勤手當		延勤手當		祭日手當		公務缺勤手當		傷病手當	
日給金ノ五割	一回二圓	延長時間割賃金ノ一割	一回五〇錢	一圓	二圓	三圓	二圓	三圓	二圓
定休日出席ノ定額日給者ニ對シ但代休支給ノ場合除ク	定休日出席ノ月給者ニ對シ但代休支給ノ場合除ク	定額日給者ノ所定就業時間外ノ就業ニ對シ	月給者ノ所定就業時間外ノ時間以上ノ就業ニ對シ	月給者ノ入坑一万ニ付	舊正月元旦ニ際シ	舊正月二日ニ際シ	舊正月三日、端午節、中秋節ニ際シ	一收坑内勞務者自己ノ都合ニ依ラスシテ缺勤セ	ル場合一日ニ付
								一收坑外勞務者自己ノ都合ニ依ラスシテ缺勤セ	ル場合一日ニ付
								一收坑内勞務者公傷病ニ依リ缺勤セル場合一日	ニ付
								一收坑外勞務者公傷病ニ依リ缺勤セル場合一日	ニ付

種 類	價 格	給 與 條 件
食 事	一日三食五〇錢	全 勞 務 者

第十條 賞與ハ毎年六月及十二月ノ二回之ヲ支給ス但舊正月、端午

節、中秋節ニ一部分割支給ス

第十一條 賞金支拂ノ際一定額ヲ控除シタル殘額ヲ各人名義ノ郵便貯
金トス

附 則

第十二條 本則ハ昭和十九年十月一日ヨリ之ヲ實施ス

華人勞務者異動表

三菱美唄礦業所

月別	入籍	退籍	月末人員	備考
昭和19, 10	289	2	287	船中死亡 2名
11	—	3	284	病死 3名
12	—	2	282	病死 2名
"20, 1	—	4	278	病死 4名
2	—	—	278	
3	—	3	275	病死 2名 歸國 1名
4	—	4	271	病死 4名
5	—	2	269	病死 2名
6	—	4	265	公症死亡 2名 病死 2名
7	—	2	263	病死 2名
8	—	1	262	公症死亡者 1名
9	—	1	261	病死 1名
10	—	2	259	病死 2名
11	—	259	—	歸國 259名

鐵道工業株式會社關係聯合國人使用屆書

一、事業主名

札幌市南一條西五丁目

鐵道工業株式會社

二、使用箇所名

北海道空知郡美唄町字美唄

三菱鑛業株式會社美唄鑛業所内

三、國籍

中華民國（人員不詳）

四、當所トノ關係

當所ハ鐵道工業株式會社ト昭和十五年一月工事請負契約ヲ締結以來同社ハ當所内ニ於テ一部掘進作業ヲ擔當シ居リタル處昭和十九年七月同社ハ華人勞務者ヲ雇傭、當所内工事ニ使役セリ、終戰直後當所ハ同社トノ工事契約ヲ解キ、同社ハ昭和二十年八月廿一日ヲ以テ全面的ニ作業ヲ中止、所屬華人勞務者ハ同年十月十九日ニテ歸國セシメタリ

死亡診斷書

死體檢案書

死亡顛末書

三菱美唄礦業所



三菱鑛業株式會社

美 唄 礦 業 所

北 海 道 空 知 郡 美 唄 町

第

號

(附屬書類)

通

昭和

年

月

日

死亡顛末書

死亡者

張 金 增 四二歳

本 籍

河北省南和縣石趙橋

病 名

腸 炎

死 年 月 日

昭和十九年十月十七日

顛 末

乘船當時ヨリ腸炎ニテ衰弱シタリタル
 ヲ救回ニ亘リ渡日ヲ哀願セルヲ以テ
 乘船ヲ許可セリ、乘船後大暴風ニ遭
 遇シ急劇ニ病状悪化シ十七日遂ニ死
 亡、船長、華人隊長等参列、告別式終
 了後水葬ニ附ス



三菱鑛業株式會社

美 唄 礦 業 所

北海道空知郡美唄町

第

號

(附屬書類)

通)

昭和

年

月

日

死亡顛末書

死亡者

常義 參一五歲

本籍

山東省鉅野縣

病名

胃腸炎

死亡年月日

昭和十九年十月十九日

顛末

乘船當時ヨリ胃腸炎ニテ衰弱シアリタ

ルモ救回ニ亘リ渡日ヲ歎願セルヲ以テ乘

船ヲ許可セリ。乘船後大暴風ニ遭遇シ急

劇ニ病状悪化シ十九日死亡ス

二十日下関港ニテ水上警察署、税関、及警

察醫、検死ヲ受ケ同日揚陸、遺骸ハ茶毘

ニ附シ本籍地ニ送附還方ヲ水上署ニ依頼ス

死亡診斷書

一氏名	青島 增齡
二男女ノ別	男
三出生ノ年月日	宣統貳年九月七日
四職業 <small>死亡者職業 家計、主ノ職業</small>	石炭山坑内雜夫 (華工)
五病死其他 <small>變死ノ別 自殺、中毒</small>	急死
六病名	衛心性脚氣
七發病ノ年月日	昭和一年 月 日 不詳
八死亡ノ年月日時	昭和十九年十一月一日 午六時五十五分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄二〇六番地 三菱美唄礦業所 旭台大和寮

右證明候也

昭和十九年十一月一日

醫師

松本 敬



北海道空知郡美唄町字美唄
三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院



三菱鑛業株式會社

美 唄 鑛 業 所

北海道空知郡美唄町

第

號

(附屬書類)

通

昭和

年

月

日

換診書

貴 增 齡

三十八歳

病名 衝心性脚氣

東山途中船中ニテ發病ス 東山當時十月二十六日初診
顔面及下肢浮腫收斂ナリ 呼吸困難アリ 脉搏頻
數微弱ナリ 第二肺動脈音亢進ス 下肢ニヒレ感
アリ 入室治療ス ウチニB劑投与注射ス 食
慾欠キ 十月一日午後六時卒五分鐘ニ死ス
右診新候也

昭和九年十月一日

三菱美唄鑛業所專屬病院

醫師 杉 本 敬一 (印)

死亡診斷書

一 氏名	曹作良
二 男女ノ別	男
三 出生ノ年月日	光緒三十四年十月二十日
四 職業 <small>死亡者職業 家計ノ主ノ職業</small>	興亞建設隊員(華人土工夫)
五 病死其他 <small>變死ノ別 自殺 中毒</small>	病死
六 病名	肋膜炎兼腹膜炎
七 發病ノ年月日	昭和十九年十月中旬日
八 死亡ノ年月日時	昭和十九年十一月五日午後三時十五分
九 死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄六番地 三菱美唄礦業所 旭 大和寮

右證明候也

昭和十九年十月六日

北海道空知郡美唄町字美唄
三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院

醫師

大塚友徳



三菱鑛業株式會社

美 唄 礦 業 所

北海道空知郡美唄町

174

第 號 (附屬書類 通) 昭和 年 月 日

檢 診 書

曹 作 良

四十八歲

病名結核性肋膜炎及心腹膜炎

来山當時既ニ病状悪化ヤリ全身瘦細貧血

アリ脉搏頻數ナリ微熱持續ス未診上左右ノ

胸部濁音アリ腹壁板状ナリ下痢アリ聽診上

胸部ニ水泡音少量アリ直午ニ入室ヲ命ス注射

及投薬ヲナシ治療ス十一月一日頃ヨリ症状重篤

トナリ三日頃ヨリ絶望トナル咳嗽及血性痰喀血

アリ呼吸困難甚シ十一月五日午後三時十五分遂ニ

死亡ス

右診断候也



三菱鑛業株式會社

美 唄 鑛 業 所

北海道空知郡美唄町

第

號

(附屬書類)

通

昭和

年

月

日

昭和十九年十一月九日

三菱美唄鑛業所專屬病院

醫師 大塚友徳



死亡診斷書

一氏名	陸 宝
二男女ノ別	男
三出生ノ年月日	二十七年 月 日
四職業 <small>死亡者職業 家計ノ主ナル職業</small>	華工隊員
五病死其他 <small>變死ノ別 自殺其他中毒</small>	病死
六病名	脚氣
七發病ノ年月日	昭和十九年十月中旬日
八死亡ノ年月日時	昭和十九年十一月二十三日午後七時四十五分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄 三番地 三菱美唄礦業所 大和寮

右證明候也

昭和十九年十一月二十五日

北海道空知郡美唄町字美唄
三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院

醫師

大塚友徳



三菱 菱 鑛 業 株 式 會 社

美 唄 鑛 業 所

北 海 道 知 那 美 唄

74

控

第

號 (附屬書類 通)

昭和 年 月 日

病名 検査 検査書

任 氏 君 三 十 五 歳 後 新 旭 台 大 和 業

陸 宝 二十 七 歳

病 名 脚 氣 症

昭和 十 九 年 十 月 二 十 五 日 午 後 十 時 四 十 分

患 者 八 月 十 九 年 十 月 二 十 七 日 出 産 後 二 歳 山 也 七 二

こ 当 時 診 断 二 業 者 著 二 衰 へ 全 身 羸 瘦

二 兩 下 腹 二 高 度 浮 腫 あり 尚 二 六 日 七 一 八

回 一 下 痢 あり ト 云 フ 即 ち 頭 書 診 断 一 毛 ト 二

其 後 毎 日 V B 1 注 射 十 二 日 止 一 月 七 日 引

失 禁 あり 予 全 身 稍 冷 脈 搏 微 弱 ト 十 日 其 左

種 々 十 日 迄 置 十 日 止 二 種 快 方 二 向 七 一 八 あり 又

ル 元 食 思 殆 十 腹 部 陷 凹 心 脈 衰 弱 如 八





三 菱 鑛 業 株 式 會 社

美 唄 礦 業 所

北 海 道 知 事 美 唄 町

第

號 (附屬書類 通)

昭和 年 月 日

右 様 謹 候 也
 昭和十一年十一月二十四日
 外 債 等 金 々 認 入 廿 十 日
 會 意 二 死 七 七 日 死 体 所 見 二 八 句 論 特 別 十 日
 日 談 話 二 國 難 十 十 日 十 月 二 十 日 午 後 十 時 四 十 五

監 師 大 塚 友 徳

死亡診斷書

一氏名	胡 関 盛
二男女ノ別	男
三出生ノ年月日	光緒二十五年七月二十日
四職業 <small>死亡者職業 家計ノ主ノ職業</small>	華工隊員
五病死其他 <small>自殺 中毒 變死</small> ノ別	病死
六病名	衝心脚氣
七發病ノ年月日	昭和 年 月 日 不詳
八死亡ノ年月日時	昭和十九年十二月十八日午前三時
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄三番地 三菱美唄礦業所

右證明候也

昭和十九年十二月十九日

醫師 杉本 敬
 北海道空知郡美唄町字美唄
 三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院

78

變死者檢案書

變死者住所、氏名、年齢
住所氏名年齢不詳ノ場合ハ性
別及推定年齢

北海道空知郡美唄町字美唄 三菱美唄礦業所 旭台 大和寮

胡 関 盛 四十六才 (華工隊員)

檢案日時

昭和十九年 十二月十九日 午前八時五十三分

檢案場所

住所ニ同シ

全身所見

全身厥冷、呼吸心音全ク停止、真ニ死ノ状明ラカニ
養体格共ニ中等度ノ男性屍ナリ。
左外臂部腫脹アリ、テヒキオトシ、藥塗布治療痕
アルモ骨折等ハ認ラレズ、顔面ニ中等度ノ
腫脹アリ、死後ノ諸因、第中等度ニ強直、背部及
下肢後面ニ死斑現ル、下腿胫骨部ニ軽度ノ腫脹

特ニ異常ヲ有スル
局所々々見

昭和十九年十二月十九日 午後八時五十分 胡 関 盛

81

<p>創傷ニ基因スルトキハ其ノ部位及性狀</p>	<p>負傷又ハ死亡ノ日時不明ノ時ハ推定日時</p>	<p>成傷器又ハ中毒物質ノ種類</p>	<p>死因原因並自他爲別</p>	<p>檢案所見ノ總括的要旨</p>	<p>右檢案候也</p>
<p>死七時</p>	<p>昭和十九年十二月十八日午前三時推定</p>	<p>（Faint handwritten text, mostly illegible)</p>	<p>病死</p>	<p>直接死因トシテハ外傷性疾患ハ認メラレズ 顔面中等度ノ浮腫下腿輕度浮腫アル處ヨリ考按 スルニ輕度ノ浮腫性肺氣腫ヲ有シ居リタル處 然レモ心臓ニ移行性死ハ轉動シタルモト思考ス</p>	<p>昭和十九年十二月十九日</p> <p>北海道空知郡美唄町字美唄 三菱美唄礦業所 專屬病院</p> <p>檢案者醫師 杉本 敬一</p>

死体検案書

一氏名	高 惠 陽
二男女ノ別	男
三出生ノ年月日	光緒三十一年十月一日
四職業 <small>死亡者職業 計家ノ主ナル職業</small>	萃工隊員
五病死 其他 自殺 中毒 變死 ノ別	腹痛死
六病名	腹痛
七發病ノ年月日	昭和十九年十一月十九日
八死亡ノ年月日時	昭和十九年十一月十九日午後六時四十五分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄三番地 三菱美唄礦業所
右 檢案候也	
昭和三十九年十一月三十一日	
醫師	大塚友徳
北海道空知郡美唄町字美唄 三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院	

病變死者檢案書

三菱美即瀨業祖 專瀨業祖

北海道空知郡美唄町宇美唄 三菱美唄礦業所 大和寮

高 惠 儒 光緒二十五年十月一日生

昭和十九年十二月三十一日午前十時三十五分

<p>變死者住所、氏名、年齢、住所氏名年齢不詳ノ場合ハ性別及推定年齢</p>	<p>檢案 日要時</p>	<p>檢案 現場見所</p>	<p>原因因並自出原因</p>	<p>全身 所見</p>	<p>即ハ朝ハ排空日朝</p>	<p>特ニ異常ナリ有ス</p>	<p>其ハ暗立又對照局書ニ所因スルヲ見</p>
<p>昭和十九年十一月二十二日血性粘液性下痢便一日五六回アリテ左側下腹部ノ疼痛ヲ訴フ、於スルニ左側下腹部ニ大鶏卵大硬度、腫瘍ヲ認ム。依ツテ適宜ニ処置ヲ行ハシメ、同年十二月十九日ニハ強ク下痢止マシ、左側下腹部ニ圧痛ヲ認スルノミトナレリ。然ルニ十二月二十日ニ至リ、急ニ血性粘液性下痢便一日八回ニ及ビ左側下腹部ノ腫瘍ハ手拳大ヲ越ヘテ觸知セラル、此ノ頃ヨリ食欲減退、羸瘦シ、歩行困難トナリ失禁ヲ示シ、其ノ後心肺衰弱又日増ニ加ハリ、遂ニ死ニ至リ、死後検スルニ全身厥冷、呼吸心音全ク停止シ、真死、杖明ラカサリ、死後諸肉節中等度ニ強直シ、背部ニ強直アリ、腹部強直下腹ハ強ク膨滿セリ、外傷ハ全ク証明シ難シ、</p>							

控

一字
一字

22451

創傷ニ基因スルトキハ
其ノ部位及性狀

負傷又ハ死亡ノ日時不

明ノ時ハ推定日時

成傷器又ハ中毒物質ノ

種 類

死因原因並自他爲別

檢 案 所 見

總 括 的 日 要 旨

右 檢 案 候 也

昭和十九年十一月二十一日

北海道空知郡美唄町字美唄

三菱美唄礦業所 專屬病院

檢案者醫師

大塚友徳

昭和十九年十一月二十一日午後四時五分

死因不明

腹部腫大

心臓衰弱

下腹部腫大

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

心臓衰弱

死亡診斷書

一氏名	王鳳銘
二男女ノ別	男
三出生年月日	光緒六年五月六日
四職業 <small>死亡者職業 家計、主ル職業</small>	華工隊員
五病死其他 <small>變死ノ別 自殺、中毒</small>	病死
六病名	大腸炎
七發病ノ年月日	和和二十年一月十八日
八死亡ノ年月日時	昭和二十年一月二十日午前七時四十分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄〇番地 三菱美唄礦業所 大和寮

右證明候也

昭和二十年一月二十日

北海道空知郡美唄町美唄
三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院

醫師

大塚友徳



三 菱 鑛 業 株 式 會 社

美 唄 礦 業 所

北 海 道 空 知 郡 美 唄 町

音 記

7

第

號

(附屬書類)

通

昭 和

年

月

日

病 死 者 檢 査 書

病 死 者

三 菱 美 唄 礦 業 所 大 和 榮

年 令

五 鳳 鳴 銘 光 緒 六 年 生

住 所

住 所 二 同 じ

病 名

大 腸 炎

死 時

昭 和 三 十 年 一 月 二 十 日 午 前 七 時 四 十 分

病 身

昭 和 三 十 年 一 月 十 八 日 夕 血 性 粘 液 性 下 痢 便 一 日 七 一 八

回 了 了 腹 部 痛 殊 二 左 側 下 腹 部 痛 痛 訴

了 吐 吐 ハ ケ シ ド 悪 心 ア リ 中 等 度 二 分 貝 血 二 欠 伸 連

發 了 十 八 脈 搏 頻 數 微 弱 ニ シ 一 見 重 態 了 思 ハ 二

ハ 依 了 腹 部 保 温 強 心 劑 等 適 宜 了 星 了 施

行 せ 了 心 臟 衰 弱 益 加 了 遂 二 死 了 轉 歸 了 ト

ル 二 至 了 心 臟 了 十 了



三 菱 鑛 業 株 式 會 社

美 唄 鑛 業 所

北 海 道 空 知 郡 美 唄 町

第

號

(附屬書類)

通

昭和

年

月

日

死後
呼吸停止
全身厥冷

死後呼吸停止、全身厥冷、呼吸心音全う停止、真

死、状明らかなり、死後法、頸部中等度、強直、

背部に死斑あり、右前額側頭部に極軽

微、擦傷及右下腿前面中央部に小豆大、

軽度擦傷あり、骨型、異常全う認め得ず、

股間、膝二脛部、大腿内側及後面全面に亘り下

痢便、附屬あり、見し。

總括的
要旨

大腸炎、下痢、共ニ急激ニ心臓衰弱

加へり、急ニ死、轉帰アリトシ、死ノト考フ、

右及檢診候也

昭和三年一月二十日

三 菱 美 唄 鑛 業 所 專 屬 病 院

醫師 大塚 友 徳

死亡診斷書

一氏名

張成德

二男女ノ別

男

三出生年月日

民國五年十月十三日

四職業

死亡者職業
家計、主職業

華工隊員

五病死其他
自殺、中毒、變死ノ別

病死

六病名

胃潰瘍

七發病ノ年月日

昭和二十年一月二十日

八死亡ノ年月日時

昭和二十年一月二十一日午後一時〇分

九死亡ノ場所

空知郡美唄町字美唄二〇番地 三菱美唄礦業所 大和寮

右證明候也

昭和二十年一月二十二日

三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院
北海道空知郡美唄町字美唄

醫師

大塚友德



三 菱 鑛 業 株 式 會 社

美 唄 鑛 業 所

北 海 道 空 知 郡 美 唄 町

控

8

第

號

(附屬書類)

通

昭和

年

月

日

病死者検診書

三菱美唄鑛業所 旭台 大和寮

張成徳 二十九才

住所 同上

四月潰瘍

昭和二十年一月二十一日午後一時〇分

昭和二十年一月二十日午後十時頃激しい腹痛を主訴として来院す。診スルニ上腹部一帯膨満し腹壁は強

く緊張あり胃部に疼痛を訴ふ。依り鎮痛剤

を注射す。約一時間後再度診察スルニ腹壁緊張

張尚強し其疼痛は軽減あり。白血球八五二〇〇ニ

し腫瘍又は硬結を觸れず。其後腹壁緊張

疼痛寛解せず。二十一日午後一時頃用便後歸床



三 菱 鑛 業 株 式 會 社

美 唄 礦 業 所

北 海 道 空 知 郡 美 唄 町

第

號 (附屬書類 通)

昭和 年 月 日

途中物件ニ躓キ轉倒ニ急激ニ苦悶、後死七セ
リト云フ。

死後、全身厥冷呼吸、心音全ク停止ニ真
死、收明ラカナリ。死後、諸肉蒂ハ中等度ニ強直
ニ背部ニ死斑ヲ有ス。腹部全面緊張ニ殊ニ上
腹部ニ著明ナリ。外傷ハ認めラレズ。

總括的
要旨

白血球增多ナク、吐吐ナク、熱發ナク、只上腹部ノ疼
痛、膨滿ヲ主訴トシ、急激ナル死ノ轉歸ヲトルル
ハ、思フニ胃潰瘍ニヨル穿孔ニシテ急性腹膜炎
ヲ發シタルニヨルモノト考フ。

右 驗 診 候 也。

昭和二十年一月二十二日

三菱美唄礦業所專屬病院

醫師 大塚 友徳



死亡診斷書

一氏名	李二德
二男女ノ別	男
三出生年月日	光緒三十二年十月十五日
四職業 <small>死亡者職業 家計主ノ職業</small>	華工隊員
五病死其他 <small>變死ノ別 自殺其他中毒ノ別</small>	病死
六病名	衝心性脚氣
七發病ノ年月日	昭和 年 月 日 不詳
八死亡ノ年月日時	昭和二十年一月二十五日午後三時十五分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄 番地 三菱美唄礦業所 大和寮

右證明候也

昭和二十年一月二十五日

三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院
北海道空知郡美唄町字美唄

醫師

中村三夫



變死者檢案書

變死者住所、氏名、年齢
住所氏名年齢不詳ノ場合ハ性別及推定年齢

北海道空知郡美唄町字美唄 三菱美唄礦業所 大和 孝子

孝子 二 德、四十歳

昭和二十年一月二十五日午後三時三十分

檢案場所


住居

全身所見

患者ハ病ニ細瘦セル事養食不良ノ小柄ノ男子ナリ、
頸部腫痛アリ前額部ニ一錢銅貨大ノ擦傷アリ
眼ハ瞳孔散大、水晶体軽度ニ白濁シテ自由障、軽度ノ病者
ヲ認ム、脉搏ハ頻數微弱ニ触ル、口ヨリハ唾液ノ泡沫ヲ
出シ意識濁濁シテ苦悶ス、全身特ニ腹部及ヒ四肢ノ
筋力強直性痙攣事ニ分位ノ後、二分位休止期間ヲオキ強直
性痙攣事三回ヲ繰返シテ死ス、周囲ノ者ニ問診スルニ前
日ニテハ元氣ニ働キ居リタル元本朝ヨリ氣分勝レシ午後一時
頃ヨリ突然胸内苦悶及ヒ腹痛ヲ訴ヘ意識モ濁濁セリト
腹中異常ナシ、陰部ヨリ股部ニ掛ケテ溼疹アリテ大便
及尿ノ失禁アリ

特ニ異常ヲ有スル
局所々々見

局所々々見

創傷ニ基因スルトキハ 其ノ部位及性狀	負傷又ハ死亡ノ日時不 明ノ時ハ推定日時	成傷器又ハ中毒物質ノ 種 類	死因原因並自他爲別	檢 案 所 見 ノ 總 括 的 要 旨	<p style="text-align: center;">右 檢 案 候 也</p> <p style="text-align: center;">昭和二十年一月二十五日</p> <p style="text-align: center;">北海道空知郡美唄町字美唄 三菱美唄礦業所 專屬病院</p> <p style="text-align: center;">檢案者醫師 中村 三</p> 
<p style="text-align: center;">/</p>	<p style="text-align: center;">昭和二十年一月二十五日午後三時十五分頃</p>	<p style="text-align: center;">/</p>	<p style="text-align: center;">病 死</p>	<p style="text-align: center;">以上所見より衝心性脚氣ニ至ル急性心臓衰弱死ト診断ス</p>	

死亡診斷書

一氏名	襄 繼 漢
二男女ノ別	男
三出生ノ年月日	宣統元年二月十一日 (三十八歲)
四職業 <small>死亡者職業 家計ノ主ノ職業</small>	華工隊員 (內雜夫)
五病死其他 <small>變死 自殺其他中毒</small> ノ別	病死
六病名	氣管枝肺炎
七發病ノ年月日	昭和二十年一月二十四日
八死亡ノ年月日時	昭和二十年一月三十日午前十時四十分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄番地 三菱美唄礦業所 大和寮

右證明候也

昭和二十年一月三十一日

北海道空知郡美唄町字美唄
三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院

醫師

杉本 敬一

病 變死者檢案書

變死者住所、氏名、年齢、住所氏名年齢不詳ノ場合ハ性別及推定年齢

北海道空知郡美唄町字美唄 三菱美唄礦業所 大和春子

齋 繼 漢 宣統元年生

檢案日時

昭和二十年一月三十日

檢案場所

住居内

全身所見

特ニ異常ヲ有スル局所々々見

昭和二十年一月二十日熱發、胸痛、咳嗽、主訴、
 元トニ受診久、診スルニ左側肺ニ乾音而下部ニ乾音
 乾音及鼓性濁音ヲ呈シ聴診上右側ニ吹笛音、
 乾音中葉度、水泡音ヲ、又左側下部ハ呼吸音弱
 ク多數、湿性水泡音ヲ聴取ス依テ受診後投肺管ト
 其後一週一過、経過ヲトリ、アリシニ一月三十日早朝
 急激ニ心脈衰弱加ハリ同日午前十時四分ニ
 死セリ

創傷ニ基因スルトキハ 其ノ部位及性状	負傷又ハ死亡ノ日時不 明ノ時ハ推定日時	成傷器又ハ中毒物質ノ 種類	死因原因並自他爲別	檢案所見ノ 總括的要旨	右 檢案候也
<p style="text-align: center;">死</p>	<p style="text-align: center;">昭和二十年一月三十日午前十時四十分</p>	<p style="text-align: center;">死</p>	<p style="text-align: center;">死</p>	以上経過より、按ズルニ左側下部、気管後投肺左性浸潤ト之カク、心臓衰弱ニシテ、死、轉歸ヲトシ、心臓ト考スル。	<p style="text-align: center;">三菱美唄礦業所 専屬病院</p>

昭和二十年一月三十日

北海道空知郡美唄町字美唄
 三菱美唄礦業所 専屬病院

檢案者醫師

杉本 敬一

死亡診斷書

一氏名	李馬德
二男女ノ別	男
三出生ノ年月日	民國二年五月十五日 (三十五歲)
四職業 <small>死亡者職業 家計、主ノ職業</small>	石炭山内雜夫
五病死其他 <small>變死ノ別 自殺、中毒</small>	病死
六病名	脚氣
七發病ノ年月日	昭和二十年二月初旬日
八死亡ノ年月日時	昭和二十年三月十八日 午後四時 〇分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄二六番地 三菱美唄礦業所 大和寮

右證明候也

昭和二十年三月十九日

北海道空知郡美唄町字美唄
三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院

醫師

大塚友徳

變死者檢案書

變死者住所、氏名、年齢
住所氏名年齢不詳ノ場合ハ性
別及推定年齢

北海道空知郡美唄町字美唄 三菱美唄礦業所 大和寮
李馬德 三十五歳

檢案日時

昭和二十年三月十八日

檢案場所

住所所同

全身所見

二日前旬より熱發咳嗽あり、診スルニ胸部所々ニ笛
音ヲ証明ス、即チ氣管炎ト考ヘ入室療養ニ
シテ命セリ、三月二日下腹ニ浮腫ヲ生ジ急激ニ
衰弱シ三月十八日朝来肺水腫、状態ヲ呈シ午
後四時許ニ不意ニ死亡ス。

特ニ異常ヲ有スル

死体ニ特別ナル外傷等認め難シ。

局所

見

創傷ニ基因スルトキハ其ノ部位及性狀

負傷又ハ死亡ノ日時不

明ノ時ハ推定日時

成傷器又ハ中毒物質ノ種類

死因原因並自他爲別

檢案所見ノ

總括的的要旨

右 檢案候也

昭和二十年三月十九日

北海道空知郡美唄町字美唄

三菱美唄礦業所 專屬病院

檢案者醫師

大塚友徳

死七ノ時

昭和二十年三月十九日午後四時〇五分

病死

以上所見ヨリ氣管炎及後脚氣ヲ伴ヒ
遺尿ノ體衰弱ニ又ハ鬱レタルモノト考フ

死亡診斷書

一氏名	孫 瑞林
二男女ノ別	男
三出生ノ年月日	宣統三年九月二十一日 (三十六才)
四職業 <small>死亡者職業 家計ノ主ノ職業</small>	石炭山内雜夫
五 <small>病死其他變死ノ別 自殺中毒</small>	病死
六病名	脚氣
七發病ノ年月日	昭和 年 月 日 不詳
八死亡ノ年月日時	昭和二十年三月二十一日 午前 三時 〇分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄 〇番地 三菱美唄礦業所 大紅寮

右證明候也

昭和二十年三月二十一日

北海道空知郡美唄町字美唄
三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院

醫師

大塚友徳

29

病

病 死者 検案書

病 變死者住所、氏名、年齢
住所氏名年齢不詳ノ場合ハ性別及推定年齢

北海道空知郡美唄町字美唄 三菱美唄礦業所 大和寮中

孫 瑞 林 三十六歳

昭和二十一年三月二十一日

検案場所

任所ニ同シテ美唄町大和寮中

全身所見

昭和二十一年十月二十六日当破産所ニ到着セシ当初ヨリ全身甚カシク衰弱シ衰弱ニ極ルニ堪ヘヤルモノトシテ安静療養ヲ命ゼタリ、當時ヨリ両下肢ニ中等度浮腫ヲ証明シ、その後服薬ニ衰弱日ニ加リ肛門膿瘍、破レテ潰瘍ヲ形成スルニ至リ、愈々衰弱シテ三月二十一日午前五時迄ニ不帰ニ客トナレリ

特ニ異常ヲ有スル局所々々見

死体ニ外傷等特記スベキ所見ナシ

<p>創傷ニ基因スルトキハ其ノ部位及性状</p>	<p>負傷又ハ死亡ノ日時不明ノ時ハ推定日時</p>	<p>成傷器又ハ中毒物質ノ種類</p>	<p>死因原因並自他爲別</p>	<p>檢案所見ノ總括的的要旨</p>	<p>右檢案候也</p>
<p>昭和二十年三月二十一日午後三時五分</p>	<p>昭和二十年三月二十一日午後三時五分</p>	<p>昭和二十年三月二十一日午後三時五分</p>	<p>昭和二十年三月二十一日午後三時五分</p>	<p>之重要スルニ故郷在佳、頃ヨリマリシ脚氣ノ悪化ニ死ノ轉歸ヲトシニ至レルモノト考フ。</p>	<p>昭和二十年三月二十一日</p>

昭和二十年三月二十一日

北海道空知郡美唄町字美唄
三菱美唄礦業所 專屬病院

檢案者醫師

大塚友徳

死亡診斷書

一氏名	宋伯声
二男女ノ別	男
三出生ノ年月日	民國十五年八月三十日 (三十歲)
四職業 <small>死亡者職業 家計主ノ職業</small>	華工隊員 内雜夫
五病死其他 <small>變死 中毒ノ別</small>	病死
六病名	肋膜炎兼腹膜炎
七發病ノ年月日	昭和二十年二月二日
八死亡ノ年月日時	昭和二十年四月六日午後七時 〇分
九死亡ノ場所	空知郡美唄町字美唄六番地 三菱美唄礦業所 大和寮

右證明候也

昭和二十年

四月七日

北海道空知郡美唄町字美唄
三菱礦業株式會社美唄礦業所專屬病院

醫師

大塚友徳